

《お客さま本位の業務運営に関する取組方針》に係る取組状況

2024年6月26日

水戸信用金庫

当金庫は、金融商品の販売やサービスの提供にあたり、お客さまのニーズに適切にお応えしていくための「水戸信用金庫 お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を、2018年9月に策定・公表しました。

この方針についての取組状況と、当金庫が自主的に設定した2024年3月末の成果指標【自主的KPI】及び比較可能な共通の成果指標【共通KPI】を公表いたします。今後もより良い業務運営を実現するため、定期的に見直しを行ってまいります。

《お客さま本位の業務運営に関する取組方針》

- 1. 私たちは、金融機関としての職業倫理をもって、お客さまの最善の利益を第一に、誠実・公正に業務を行ってまいります。
- 2. 私たちは、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に行ってまいります。
- 3. 私たちは、金融商品の販売やサービスの提供にあたり、お客さまにご負担いただく手数料その他の費用の詳細について、適切な資料に基づき、わかりやすい丁寧な説明を行います。
- 4. 私たちは、金融商品の販売や推奨等を行ううえでの重要な情報について、お客さまにご理解いただけますよう、わかりやすい丁寧な説明を行います。
- 5. 私たちは、お客さまとの対話を通して、お客さまお一人おひとりにふさわしい金融商品の販売や推奨等を行います。
- 6. 当金庫は、お客さまの最善の利益を図るための職員に対する適切な教育を行ってまいります。

自主的に設定した成果指標【自主的KPI】

- 1ー(1) 投資信託残高と投資信託顧客数の推移
- 1ー(2) 資産複合型ファンドの残高推移
- 1ー(3) 投資信託の平均保有期間の推移
- 1ー(4) NISA（少額投資非課税制度）残高の推移
- 5ー(1) 投資信託のラインナップ
- 6ー(1) FP資格保有数

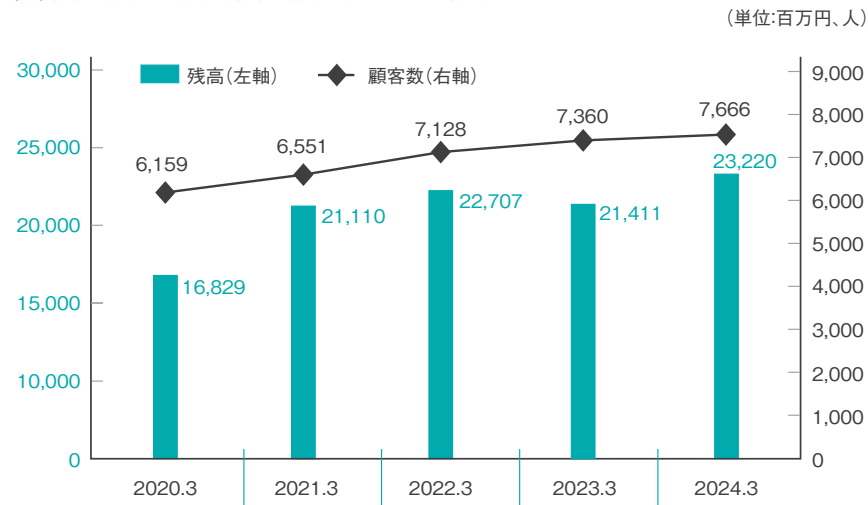
比較可能な共通の成果指標【共通KPI】

- 投資信託の運用損益別顧客比率
- 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
- 投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

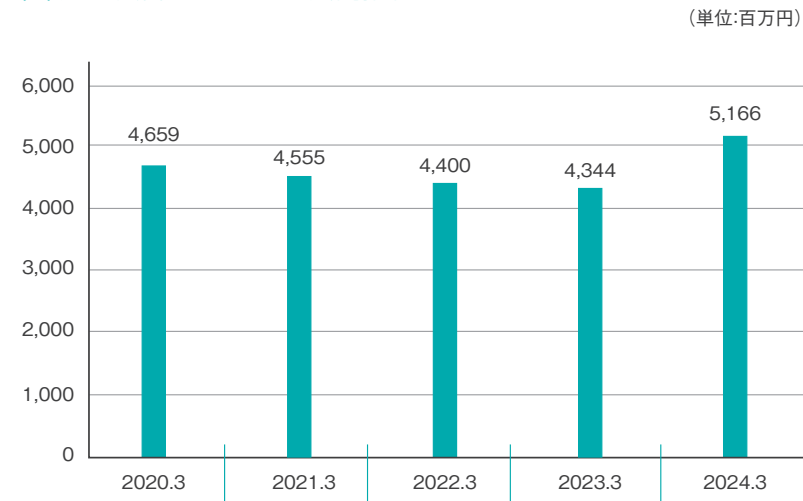
1. 私たちは、金融機関としての職業倫理をもって、お客さまの最善の利益を第一に、誠実・公正に業務を行ってまいります。

当金庫直近5年間の業況推移です。

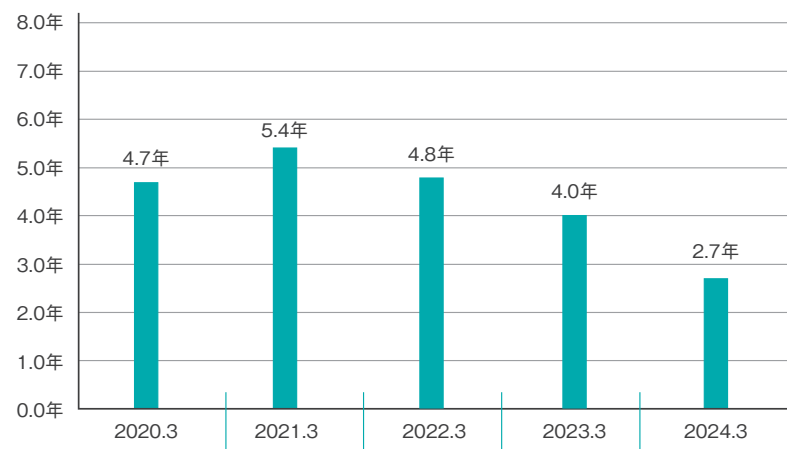
(1) 投資信託残高と投資信託顧客数の推移



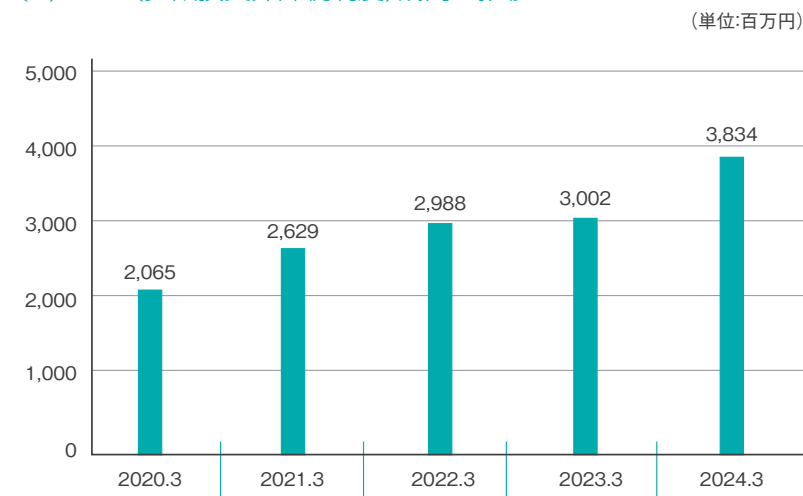
(2) 資産複合型ファンドの残高推移



(3) 投資信託の平均保有期間の推移



(4) NISA (少額投資非課税制度) 残高の推移



2. 私たちは、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に行ってまいります。

当金庫にのみ特別な利益となるような、一部の特定な資産運用会社に偏った商品の販売等は行っておりません。

預り残高上位20銘柄の運用会社名とファンド数

(2024年3月末)

運用会社	ファンド数	割合
しんきんアセットマネジメント投信(株)	9	45%
アセットマネジメントOne(株)	7	35%
三井住友DSアセットマネジメント(株)	2	10%
ニッセイアセットマネジメント(株)	1	5%
東京海上アセットマネジメント(株)	1	5%

3. 私たちは、金融商品の販売やサービスの提供にあたり、お客さまにご負担いただく手数料その他の費用の詳細について、適切な資料に基づき、わかりやすい丁寧な説明を行います。

投資信託の購入時や解約時にお客さまにご負担いただく手数料や間接的にご負担いただく費用の内訳については3および4ページの資料「ファンドガイドブック」「ファンドラインナップ」のパンフレットを用いてご説明しています。

4. 私たちは、金融商品の販売や推奨等を行ううえでの重要な情報について、お客さまにご理解いただけますよう、わかりやすい丁寧な説明を行います。

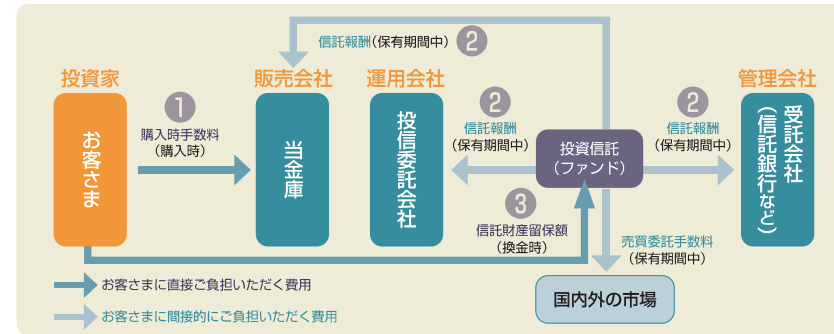
商品の重要な情報(リスク・リターン等)についても、「ファンドガイドブック」「ファンドラインナップ」を用いて、お客さまにわかりやすく丁寧に説明しています。また、商品の運用状況や経済環境および市場動向等については、「グローバル・マーケットのポイント」を毎月発行して情報提供に努めています。

「ファンドガイドブック」

投資信託に関する主な手数料等の概要

投資信託には購入時の購入時手数料のほかに、換金時の信託財産留保額、信託財産から間接的にご負担いただく信託報酬や利益に対する税金など、さまざまな費用がかかります。

投資インターネットサービスからお申込みいただく、購入時手数料のあるファンドの場合は、同手数料が窓口販売より20%割引となります。（ただし、定時定額（投信自動積立）による買付を除きます。）



1 購入時
||
購入時手数料

販売会社が募集取扱業務の報酬として募集・買付時に徴収する手数料です。商品の保有期間が長期に及ぶほど1年あたりの負担率が過減していきます。
お申込金額 = 約定金額^{*1} + 購入時手数料（税込）^{*2}
※1）約定金額 = 基準価額 × お申込口数
※2）購入時手数料（税込） = 約定金額 × 購入時手数料率（税込）

購入時手数料（税込）についての留意事項

購入時手数料（税込）は、ご指定のお申込金額の中から、お支払いいただきます。たとえば、100万円の金額指定でお買付けいただく場合、ご指定金額（お申込金額）の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円の全額がファンドのお買付金額に充当されるわけではありません。
<概算金額の計算>
購入時手数料（税込） = お申込金額 ÷ (1 + 購入時手数料率（税込）) × 購入時手数料率（税込）
<計算例> 購入時手数料率（税込）
21,526円 = 1,000,000円 ÷ (1 + 0.022) × 0.022

なお、購入時手数料が不要なファンドもありますので、ご確認ください。

2 保有期間中
||
運用管理費用
（信託報酬等）

ファンドを運営する上で、運営当事者（販売会社、運用会社、管理会社）の業務に対する報酬として支払われる費用です。信託報酬は年率表示となっていますが、日々計算され、純資産から信託報酬を差し引いた後に基準価額が算出されています。
1日分の信託報酬 = 純資産総額（残高口数 × 基準価額） × 信託報酬率（税込） ÷ 365

*その他の費用として、監査報酬、有価証券等売買時の売買委託手数料、外貨建資産保管費用、信託事務の諸費用等の費用が信託財産から支払われます。

3 換金時
||
信託財産留保額

換金代金を支払うためには、信託財産の組入を有価証券を売却し、現金化する必要があります。信託財産留保額は、この売却に必要な手数料等のコストを換金する投資家に負担してもらうために設けられているもので、換金時の基準価額からファンド毎に定める所定の料率が差し引かれます。

投資信託を保有し続ける投資家と換金する投資家との間の公平性を保つためのものですので、販売会社や運用会社に支払われるものではなく、信託財産の中に留保されます。なお、信託財産留保額が不要なファンドもありますので、ご確認ください。

「ファンドラインナップ」

特定・一般口座対象ファンド

【NISA口座ではご購入不可】

アセット クラス	ファンド名・投信委託会社	ファンドの特徴	年間 決算回数	購入時手数料 （税込） [*]
資産 複合型	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型) 愛称：円奏会 設定・運用：東京海上アセットマネジメント	国内の複数の資産（債券、株式、不動産投資信託）に分散投資します。各資産への配分比率は、日本債券70%、日本株式15%、日本REIT15%を基本とします。	12	1.65%
	クルーズコントロール 設定・運用：アセットマネジメントOne	国内外の6つの資産（国内債券・国内株式・海外債券・海外株式・新興国債券・新興国株式）に分散投資します。基準価額の下落を一定水準までに抑えることを目指します。	2	2.20%
	しんさん3資産ファンド(毎月決算型) 設定・運用：しんさんアセットマネジメント投信	3つの資産（国内株式・国内不動産投資信託・海外債券）に、おおよそ同程度の金額配分で分散投資します。	12	2.20%
	しんさんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 設定・運用：しんさんアセットマネジメント投信	6つの資産（国内外の株式・債券・不動産投資信託）に、おおよそ同程度の金額配分で分散投資します。	12	2.20%
株式型 国内	DIAM割安日本株ファンド 設定・運用：アセットマネジメントOne	国内の上場株式の中から、相対的に割安と判断される銘柄へ投資を行い、相対的に高い配当収入と値上がり益の獲得を目指します。	12	1千万円未満 2.75% 1千万円以上 2.20% 1億円以上 1.65%
株式型 海外	しんさん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型) 設定・運用：しんさんアセットマネジメント投信	日本を除く先進国の配当利回りが高い企業の株式に投資します。	12	2.75%
債券型 国内	ニッセイ日本インカムオープン 愛称：Jボンド 設定・運用：ニッセイアセットマネジメント	社債を中心とした多種多様な国内債券（国債、社債、ABS等）に投資し、債券の残存期間ごとに等金額投資を行います。	12	1.10%
海外 債券型	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型) 愛称：泰平航路 設定・運用：三井住友DSアセットマネジメント	米ドル建て投資適格社債等に投資することにより、信託財産の成長と安定的な収益の確保を目指します。為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。	12	1.65%
	コーポレート・ボンド・インカム(為替ノーヘッジ型) 愛称：泰平航路 設定・運用：三井住友DSアセットマネジメント	米ドル建て投資適格社債等に投資することにより、信託財産の成長と安定的な収益の確保を目指します。	12	1.65%
	マニユライフ・カナダ債券ファンド 愛称：メープルギフト 設定・運用：マニユライフ・インベストメント・マネジメント	カナダドル建ての公社債を主要投資対象とし、安定した金利収入の確保と中長期的な値上り益の獲得を目指します。	12	2.20%
	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型) 設定・運用：三菱UFJアセットマネジメント	主要先進国のソブリン債に分散投資し、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。	12	1億円未満 1.65% 1億円以上 1.10%
	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型) 愛称：グロソブN 設定・運用：三菱UFJアセットマネジメント	主要先進国のソブリン債に分散投資し、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指します。	1	1億円未満 1.65% 1億円以上 1.10%
	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース) 愛称：ハッピークローバー 設定・運用：アセットマネジメントOne	高格付資源国（カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェー）の公社債を中心に投資します。	12	2.20%
	DIAM新興資源国債券ファンド 愛称：ラッキークローバー 設定・運用：アセットマネジメントOne	新興資源国の現地通貨建ての国債等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	12	2.75%
	しんさんリートオープン(毎月決算型) 設定・運用：しんさんアセットマネジメント投信	国内の不動産投資信託に投資し、東証REIT指数（配当込み）をベンチマークとします。銘柄選定にあたっては、財務内容や収益性、流動性などを総合的に勘案します。	12	2.20%
不動産投資信託 内外	三井住友・グローバル・リート・オープン 愛称：世界の大家さん 設定・運用：三井住友DSアセットマネジメント	日本を含む世界各国の不動産投資信託に投資します。安定的かつ相対的に高い配当収益の確保のために、賃貸事業収入比率の高い銘柄を中心に分散投資します。	12	3.30%

（注1）このページは当金庫で取扱う主要な投資信託を一覧にしたものです。各商品の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目録見書）等をご覧ください。

（注2）購入時手数料につきましては当金庫における販売手数料を、運用管理費用（信託報酬）につきましてはお客さまにご負担いただく費用を記載しております。手数料その他費用の詳細は、投資信託説明書（交付目録見書）等をご覧ください。*投資信託の購入時手数料は購入時に負担いただくものですが、保有期間が長期に及ぶほど、1年あたりの負担率はしだいに減っていきます。

（注3）投資信託のリスクに関しては、投資信託説明書（交付目録見書）等をご参照ください。

本ページの計算結果は手数料を考慮せず、税引前分配金を分配時に再投資したものととして計算。当該結果は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

「ファンドガイドブック」

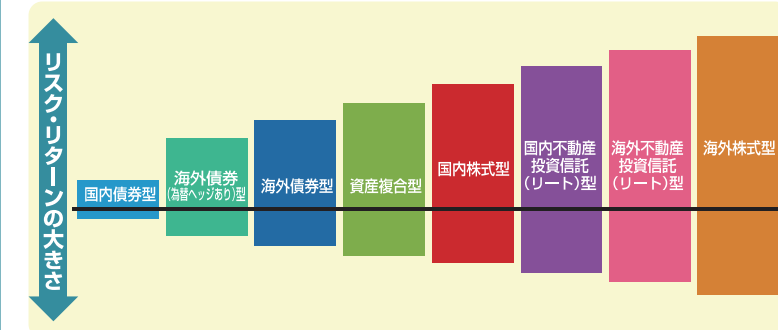
投資信託のリターンとリスク

投資対象によりさまざまな投資信託のタイプがありますが、一般的に大きいリターン(収益)が期待できるファンドタイプは、リスク(価格の変動幅)も大きく、リスクが小さいファンドタイプは期待できるリターンも小さくなる傾向があります。

各ファンドタイプの価格の振れ幅

購入を考えている投資信託が過去にどれだけ値上がりしたか、値下がりしたかを把握しておくことは大切で、とりわけ、最も大きな下落の可能性を想定しておくことは、投資金額や資産の配分比率を決める上でのヒントになります。

右にあるタイプの投資信託ほど高い収益が期待できる一方で、価格が変動する幅も大きくなります。



※上記はあくまでもイメージ図であり、将来の投資成果等を保証もしくは予測するものではありません。
※ここでのリスクは、主に投資信託の価格変動の大きさ(ブレ幅)を指します。

主な投資リスク概要

株価変動リスク	株式は、企業業績や、国内外の政治・経済情勢等の影響などで価格が変動します。ファンドに組み入れた株式の価格が下落した場合、基準価額の下落要因になります。
金利変動リスク	債券は、金利水準の変化により価格が変動します。利率が確定している債券を購入した後に市中金利が上昇すると、その債券の魅力が薄れ価格は値下がります。組み入れた債券の価格が下落した場合、基準価額の下落要因になります。
信用リスク	信用リスクとは、株式や債券等の有価証券発行体が財務状況の悪化や経済情勢の変化等で利払いや元本の返済が滞り、有価証券の価格が下落したり、投資資金の回収ができなくなったりすることです。信用リスクが高まると保有資産の価格が下がり、基準価額の下落要因になります。
為替変動リスク	為替変動リスクとは、外貨建て資産に投資する際、外国為替相場の変動で投資した金融資産の円換算額が変動することです。外国為替相場は、金利情勢、政治・経済情勢、市場の需給などの要因で変動します。投資国の通貨が対円で下落(円高)すると、投資した資産の円換算額が減り、基準価額の下落要因になります。
リート(不動産投資信託)の価格変動リスク	リート(不動産投資信託)は、様々な種類の不動産を投資対象としています。リーートの価格は、不動産市況、金利情勢、リーートの財務状況や収益状況などの要因で変動します。組み入れたリーートの価格が下落した場合、基準価額の下落要因になります。
その他	他にも、カントリーリスク、コモディティ市況の変動リスク、流動性リスク、デリバティブ取引のリスク、銘柄選択のリスク、一部解約による資金流出に伴うリスク、主要投資対象とする各種資産(外国投資信託、MLP等)の価格変動等のリスクがあります。

- 上記の主なリスクは一般的なリスク要因を記載したものであり、ファンドのすべてのリスクを網羅するものではありません。詳細は各ファンドの最新の投資信託説明書(交付目録見書)等を必ずご確認ください。
- 上記のほか、「投資信託ご購入にあたっての注意事項」についてもご一読ください。

「ファンドラインナップ」

資産分散を考えましょう

■ 年間騰落率で見る各ファンドタイプの値動きの変遷

- 一つの資産に集中して投資するよりも、値動きの異なる複数の資産を組み合わせることで、資産全体の値動きが緩やかになる効果が期待できます。
- 下図を見ると、ある特定の金融資産が長期的に上昇し続けたり下落し続けたりするケースが少ないことが分かります。また、大きく値上がりした金融資産はその直後に大きく値下がりするケースも多く、「資産複合型」のように投資資産を分散することで、資産全体の価格変動リスクを一部回避できると考えられます。

■ 各ファンドタイプの年間騰落率(対象年の末日と前年の末日との比較)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
海外リート	44.76%					海外株式(先進国)	26.82%			
国内リート	29.08%			海外株式(新興国)	29.81%		国内リート	24.70%		海外株式(先進国)
海外株式(新興国)	19.57%		海外債券(新興国)	11.01%	国内株式	26.83%		海外リート	50.42%	国内株式
海外株式(先進国)	16.94%		国内リート	8.43%	海外株式(先進国)	19.83%		国内株式	29.57%	海外株式(新興国)
資産複合	13.77%		海外債券(海蔵ヘッジあり)	3.53%	資産複合	13.75%	海外株式(先進国)	17.29%	国内リート	18.50%
海外債券(新興国)	10.87%		海外株式(先進国)	2.12%	海外債券(新興国)	7.96%	海外株式(新興国)	6.32%	国内株式	9.83%
国内株式	8.81%	国内株式	海外株式(新興国)	1.75%	海外リート	3.69%	海外債券(海蔵ヘッジあり)	6.48%	3.15%	資産複合
海外債券(海蔵ヘッジあり)	3.69%	海外リート	1.01%	0.50%	3.04%	10.12%	6.29%	2.93%	7.06%	海外債券(新興国)
国内債券	3.31%	国内債券	海外リート	0.23%	0.04%	0.59%	国内債券	1.52%	4.68%	6.11%
海外債券(海蔵ヘッジあり)	-1.21%	国内株式	国内リート	-7.21%	-3.68%		国内債券	-0.75%	-0.02%	-1.63%
資産複合	-1.51%	海外債券(先進国)	海外債券(先進国)	-0.56%		海外債券(新興国)	-5.96%		-5.33%	-1.12%
海外株式(先進国)	-5.12%				資産複合	-6.77%	海外リート	-11.30%		-5.73%
国内リート	-5.49%				海外リート	-7.43%	国内リート			-6.48%
海外債券(先進国)	-6.66%				海外債券(新興国)	-8.23%				-6.82%
海外株式(新興国)	-12.08%				海外株式(先進国)	-13.34%				-7.95%
海外債券(新興国)	-13.51%				海外株式(新興国)	-16.04%				-10.94%
					国内株式	-18.22%				-11.43%
										-13.20%

※上記はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
※国内公募の全道型株式投資信託(ETF、通貨選択型、マネーボール除く)を対象としたファンドタイプ毎の指数。QUICK 独自の分類。

「グローバル・マーケットのポイント」



グローバル・マーケットのポイント 5月号

2024年4月末時点

米国のインフレ再燃懸念など受け、日経平均株価が4カ月ぶりに下落（図表1）

24年4月の国内株式相場は日経平均株価が月間で1963円（マイナス4.9%）の大幅下落となりました。4カ月ぶりの下落です。米国でインフレ懸念が再び高まったことなどを受け、米連邦準備理事会（FRB）の早期利下げ観測が後退。米国を中心とする長期金利の上昇傾向に加え中東情勢の緊迫化への警戒などから、国内株式相場は調整を余儀なくされました。なお、日銀は26日の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定しています。

FRBの早期利下げ観測後退。金利上昇などで、米主要株価指標は6カ月ぶりに下落（図表2）

米国では3月の消費者物価指数が市場予想を上回る伸びとなり、FRBの利下げ時期が遅くなるとの見方が浮上。長期金利の上昇で株式の相対的な割高感も意識され、米国株市場では主要3指標が6カ月ぶりに下落しました。米国の24年1～3月期の実質国内総生産（GDP）成長率（速報値）は前期比年率1.6%と事前予想を下回りましたが、個人消費支出は底堅く推移しており、根強い高インフレが重荷となるなか、今後の政策運営には注視が必要です。

IMFはインドの着実な経済成長を予想。名目GDPで世界3位が視野（図表3）

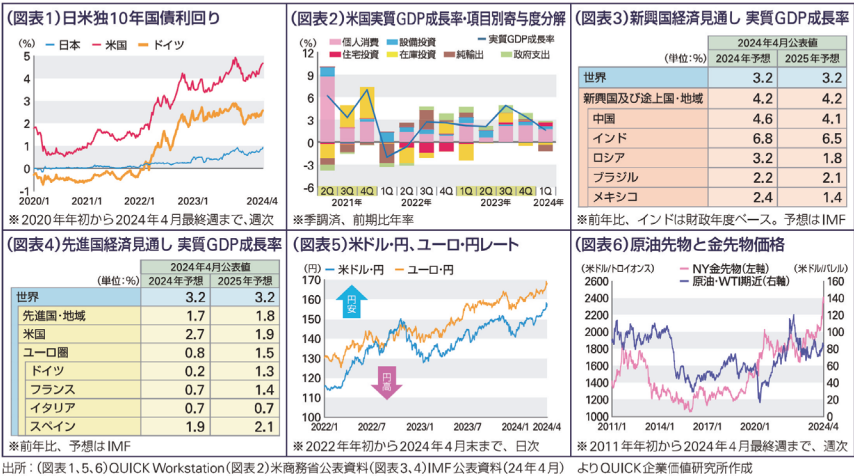
国際通貨基金（IMF）は、24年4月の「世界経済見通し」で、インドの24年度の実質GDP成長率予想を前年度比6.8%としました。続く25年度の予想は同6.5%としています。順調な人口の増加に加え、モディ政権が推進する経済構造改革の効果などでインドは主要国で最高水準の経済成長率を維持する見通しです。IMFはインドが27年までに名目GDPで日本とドイツを抜き、世界第3位になると予想しています。

ECBは5会合連続で政策金利を据え置き。次回6月の利下げ観測強まる（図表4）

IMFは4月の「世界経済見通し」で、ユーロ圏の24年の実質GDP成長率を前年比0.8%としました。同0.2%のドイツを筆頭に圏内各国の成長率は低水準にとどまる見通しで、インフレ圧力は弱まっています。欧州中央銀行（ECB）は4月11日に開催した政策理事会で、政策金利を5会合連続で据え置くことを決定。声明文では、今後の利下げ転換を示唆しました。次回6月6日の政策理事会での利下げ確率が強まったとの見方が浮上しています。

円は対米ドルで34年ぶりの安値に下落。主要銀行の金融政策の方向性を反映（図表5）

4月はFRBの早期利下げ観測が後退する一方、ECBは6月に利下げするとの見方が優勢となり、日銀は金融政策の現状維持を決定しました。外国為替市場ではこれら中央銀行のスタンスを反映して、ユーロが対米ドルで5カ月ぶりの安値をつけ、円は29日のNY市場で一時的に1米ドル＝160円台まで下落。1990年以来、34年ぶりの安値をつけました。



今後のグローバル・マーケットのポイント

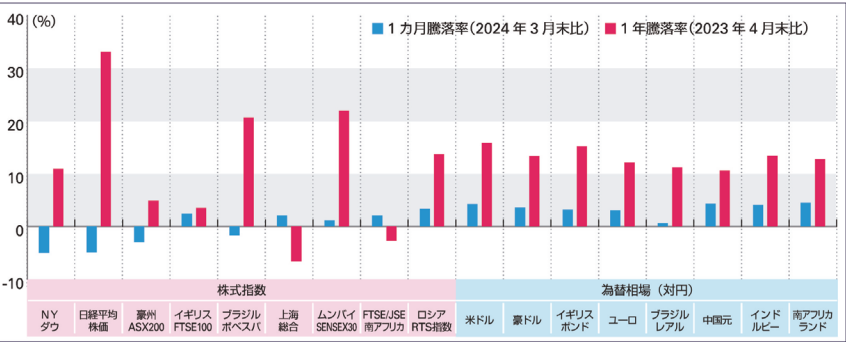
- NY金先物相場は、4月に1トロイオンス2400ドル台に乗せ、3月に続き過去最高値を更新しました（図表6）。イランとイスラエルの衝突など中東における地政学リスクの高まりや米国でのインフレ再燃懸念を受け、相対的な「安全資産」としての側面が注目されているようです。
- NY原油先物相場も、中東情勢の緊迫化などを受け、1バレル80ドル台で推移しました（図表6）。ただ、イランおよびイスラエルが攻撃の応酬に消極的との見方が広がったことで、相場は急騰するには至りませんでした。

その他の主なリスク

- ① 米国の景気動向…………… 米国の大統領選は4年ごとに開催されますが、過去の経験則では「大統領選の前年」は株価が上昇し、「大統領選の年」は景気が改善する傾向があります。4月は米国の景気指標が製造業を中心に改善を示しましたが、5月以降、このトレンドが継続するのが注目されます。
- ② 世界的な戦争拡大へのリスク…………… 4月はイランとイスラエルの衝突が勃発しました。両国は双方の攻撃へ抑制的な姿勢を示し、事態は一旦鎮静化に向かいました。しかし、両国は「宿敵」とも言うべき間柄だけに、再度の衝突やそれが世界的な戦争に拡大するリスクが懸念されます。

株式・外国為替相場の騰落率

出所：各種データを基に QUICK 作成 ※日経平均株価の著作権は日本経済新聞社に帰属します。※株価指数は現地通貨ベース（ロシア RTS 指数は米ドルベース）。



イベントスケジュール

出所：各種資料より QUICK 作成 ※各日程は変更の可能性あり。

国内	海外
24年15日 24年4月訪日外国人数(推計値)	米国24年4月CPI
5月16日 24年1～3月期GDP(1次速報)	
24日 24年4月全国消費者物価指数	
31日	インド24年1～3月期GDP
6月2日	メキシコの大統領選・議会選
4日	インド総選挙開票日
6日 東京ディズニーシー、最大規模の拡張実施	ECB政策理事会
	欧州議会選(9日まで)
7日	米国24年5月雇用統計
11日	米国FOMC(12日まで)
12日	米国24年5月CPI
13日 日銀金融政策決定会合(14日まで)	
19日 24年6月訪日外国人数(推計値)	
20日 東京都知事選告示	

5. 私たちは、お客さまとの対話を通して、お客さまお一人おひとりにふさわしい金融商品の販売や推奨等を行います。

お客さまの状況、取引経験、知識および取引目的・ニーズをお聞かせいただいたうえで、適時適切な金融商品の販売や推奨等を行います。
商品のラインナップは、昨年お客様のニーズに応えるため、新たに23銘柄を導入し、現在55ファンドの商品を取り扱っています。

(1)投資信託のラインナップ

商品 カテゴリー	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	取扱商品数	構成比	取扱商品数	構成比	取扱商品数	構成比
国内	9	28.1%	9	28.1%	13	23.6%
株式	6	18.8%	6	18.8%	9	16.4%
債券	1	3.1%	1	3.1%	1	1.8%
REIT	2	6.2%	2	6.2%	3	5.5%
海外	16	50.0%	16	50.0%	28	50.9%
株式	7	21.9%	7	21.9%	15	27.3%
債券	8	25.0%	8	25.0%	11	20.0%
REIT	1	3.1%	1	3.1%	2	3.6%
資産複合型	7	21.9%	7	21.9%	14	25.5%
合計	32	100.0%	32	100.0%	55	100.0%
うちノーロード	5	15.6%	5	15.6%	12	21.8%

※新規販売を停止しているファンドを除く

<参考>投資信託のアセットクラス別残高

(単位:百万円)

アセットクラス (投資対象)	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
資産複合型	4,400	19.4%	4,344	20.3%	5,160	22.2%
国内株式型	2,246	9.9%	2,753	12.9%	3,469	14.9%
海外株式型	3,658	16.1%	4,197	19.6%	7,497	32.3%
国内債券型	147	0.6%	132	0.6%	96	0.4%
海外債券型	983	4.3%	749	3.5%	733	3.2%
不動産投資信託	11,273	49.7%	9,236	43.1%	6,265	27.0%
合 計	22,707	100.0%	21,411	100.0%	23,220	100.0%

※新規販売を停止しているファンドを含む

6. 当金庫は、お客さまの最善の利益を図るための職員に対する適切な教育を行ってまいります。

職員に対する研修等を実施し、職員の専門知識の習得や能力の向上を図っています。FP（ファイナンシャル・プランナー）資格の取得を奨励しています。

(1)FP資格保有数

(単位:人)

資格名称	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
CFP	3	3	3	3	3
FP技能士1級	15	16	16	14	13
FP技能士2級	259	254	268	275	266
FP技能士3級	273	272	263	254	250

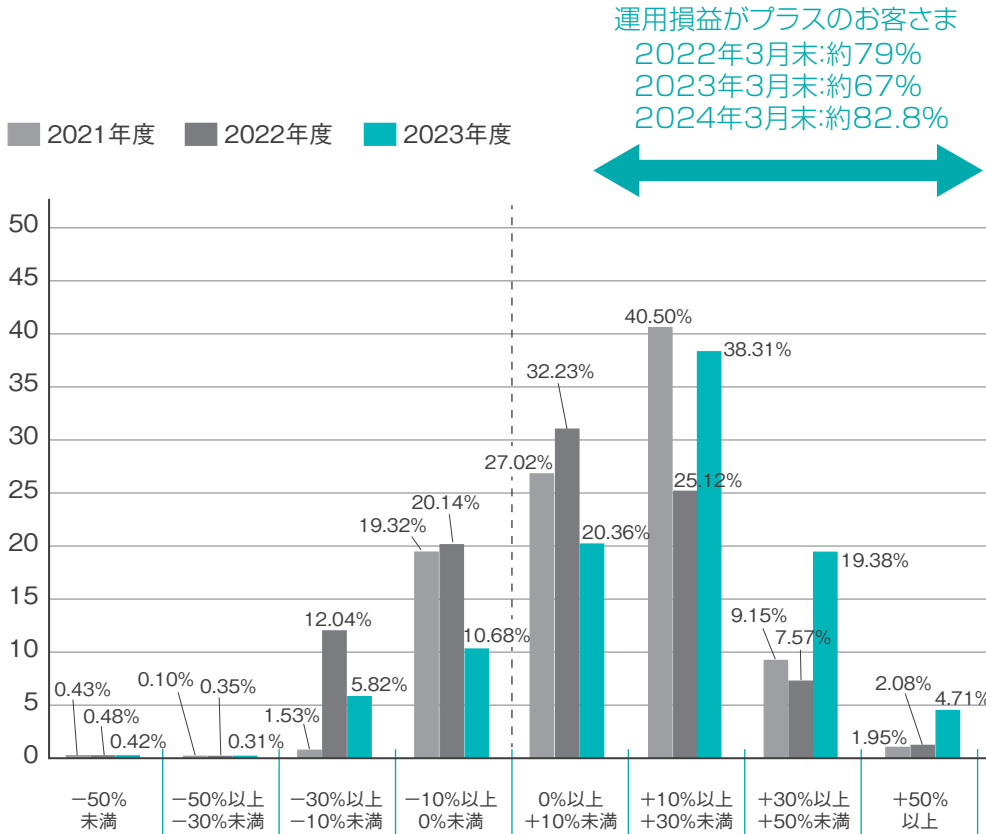
※資格保有者数は上位資格者の下位資格の重複を除く人数

投資信託の運用損益別顧客比率【共通KPI】

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

2024年3月末現在、当金庫で投資信託を保有するお客さまのうち、運用損益がプラス（0%以上）のお客さまは約82.8%となっています。



投資信託の運用損益別顧客比率

【運用損益の区分】	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	顧客数	割合	顧客数	割合	顧客数	割合
+50%以上	139	1.95%	153	2.08%	361	4.71%
+30%以上+50%未満	652	9.15%	557	7.57%	1,486	19.38%
+10%以上+30%未満	2,887	40.50%	1,849	25.12%	2,937	38.31%
0%以上+10%未満	1,926	27.02%	2,372	32.23%	1,561	20.36%
-10%以上0%未満	1,377	19.32%	1,482	20.14%	819	10.68%
-30%以上-10%未満	109	1.53%	886	12.04%	446	5.82%
-50%以上-30%未満	7	0.10%	26	0.35%	24	0.31%
-50%未満	31	0.43%	35	0.48%	32	0.42%
合 計	7,128	100%	7,360	100%	7,666	100%

基 準 日：令和6年3月末時点（平成15年6月以降の数値をもとに算出）

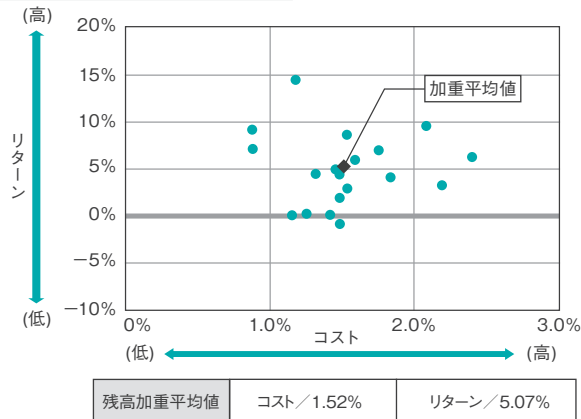
運 用 損 益：基準日時点の評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売却金額-累計買付金額（含む消費税込みの販売手数料）

運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

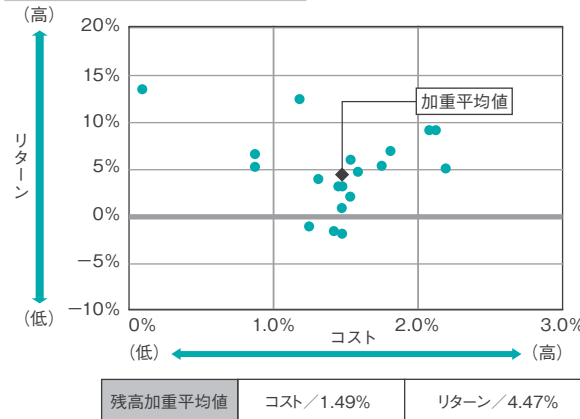
投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン及びリスク・リターン【共通KPI】

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。
これらの指標により、中長期的に、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多くご提供してきたかを見ることができます。
2024年3月末現在、投資信託の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.53%、平均リスク14.98%に対し、平均リターンは8.14%でした。

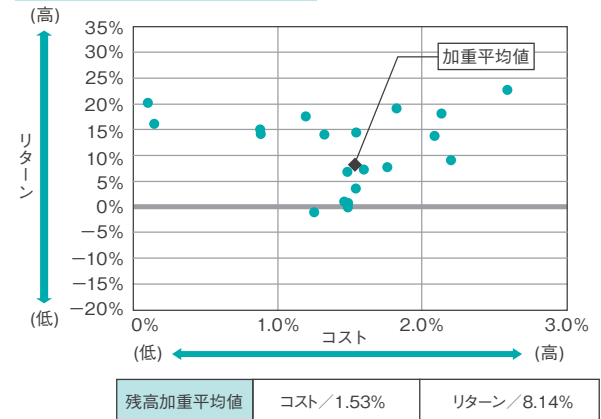
2021年度 コスト・リターン表



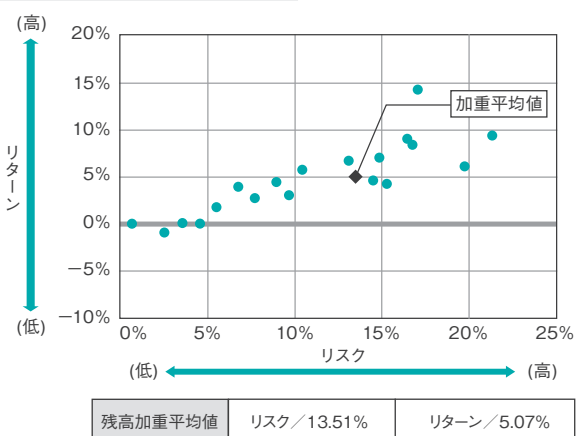
2022年度 コスト・リターン表



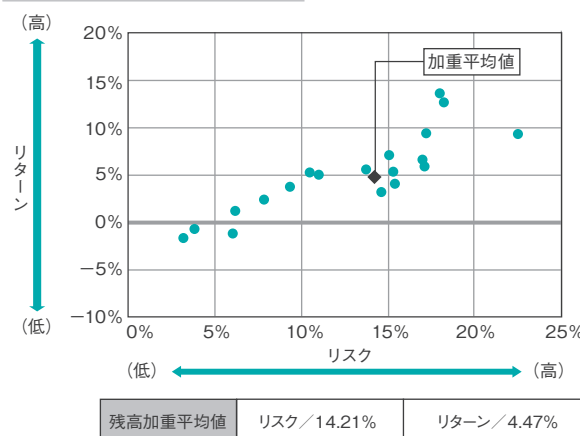
2023年度 コスト・リターン表



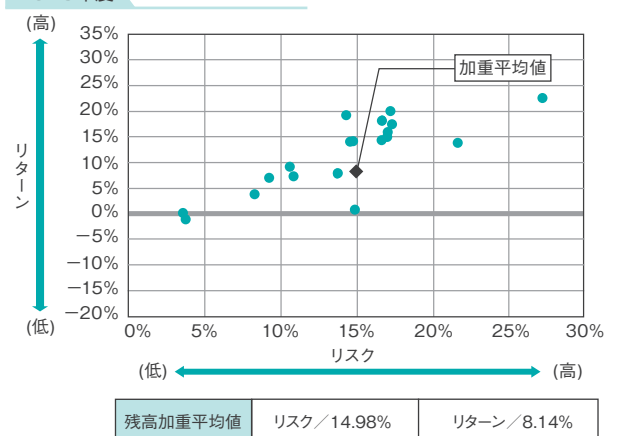
2021年度 リスク・リターン表



2022年度 リスク・リターン表



2023年度 リスク・リターン表



基準日：令和6年3月末時点

対象ファンド：投資信託預り資産残高上位20銘柄（設定5年以上）

コスト：（販売時手数料÷5）+信託報酬（年率） 販売手数料は、当金庫において最低販売金額での料率（税込） 信託報酬（年率）は、目論見書記載の実質的な信託報酬の上限（その他の費用・手数料は含まず）

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算） 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算） 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

預り残高上位20銘柄の個別明細

2021年度					(2022年3月末)					2022年度					(2023年3月末)					2023年度					(2024年3月末)				
順位	銘柄名		コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名		コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名		コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名		コスト	リスク	リターン						
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)		1.49%	14.50%	4.59%	①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)		1.49%	14.60%	3.17%	①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)		1.49%	14.90%	0.65%												
②	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)		2.09%	21.27%	9.54%	②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)		1.49%	9.31%	3.74%	②	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)		2.09%	21.59%	13.74%												
③	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)		1.49%	8.99%	4.51%	③	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)		2.09%	22.56%	9.24%	③	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)		1.49%	9.24%	6.82%												
④	しんきんJPX日経400オープン		0.88%	14.84%	7.05%	④	しんきんJPX日経400オープン		0.88%	15.29%	5.35%	④	しんきんJPX日経400オープン		0.88%	14.58%	13.97%												
⑤	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)		1.25%	3.60%	0.20%	⑤	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)		1.60%	11.00%	4.97%	⑤	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)		1.60%	10.84%	7.30%												
⑥	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)		1.60%	10.41%	5.77%	⑥	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)		1.25%	3.76%	-0.90%	⑥	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)		1.19%	17.31%	17.35%												
⑦	しんきん世界アロケーションファンド		1.49%	2.61%	-0.85%	⑦	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)		1.19%	18.26%	12.55%	⑦	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)		1.54%	16.62%	14.30%												
⑧	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)		1.54%	16.72%	8.48%	⑧	しんきん好配当利回り株ファンド		1.32%	15.39%	4.16%	⑧	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)		1.25%	3.81%	-1.10%												
⑨	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)		1.49%	5.51%	1.87%	⑨	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)		1.54%	17.12%	6.11%	⑨	AI(人工知能)活用型世界株ファンド		2.13%	16.66%	18.13%												
⑩	しんきんインデックスファンド225		0.88%	16.42%	9.11%	⑩	しんきん世界アロケーションファンド		1.49%	3.12%	-1.65%	⑩	しんきん好配当利回り株ファンド		1.32%	14.72%	13.95%												
⑪	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)		1.54%	7.69%	2.80%	⑪	しんきんインデックスファンド225		0.88%	17.04%	6.60%	⑪	たわらノーロード 先進国株式		0.10%	17.20%	19.90%												
⑫	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)		1.76%	13.09%	6.80%	⑫	AI(人工知能)活用型世界株ファンド		2.13%	17.25%	9.27%	⑫	しんきんインデックスファンド225		0.88%	17.00%	14.87%												
⑬	しんきんJリートオープン(1年決算型)		1.46%	14.47%	4.78%	⑬	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)		1.54%	7.81%	2.31%	⑬	しんきん世界アロケーションファンド		1.49%	3.60%	-0.06%												
⑭	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)		1.42%	4.58%	0.07%	⑭	しんきんJリートオープン(1年決算型)		1.46%	14.58%	3.32%	⑭	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)		1.54%	8.31%	3.64%												
⑮	三井住友・グローバル・リート・オープン		2.41%	19.75%	6.20%	⑮	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)		1.76%	13.77%	5.48%	⑮	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)		1.76%	13.75%	7.79%												
⑯	DIAM新興資源国債券ファンド		2.20%	9.67%	3.13%	⑯	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)		1.49%	6.12%	1.15%	⑯	DIAM割安日本株ファンド		1.82%	14.30%	19.15%												
⑰	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)		1.19%	17.08%	14.35%	⑰	たわらノーロード先進国株式		0.10%	17.99%	13.54%	⑰	DIAM新興資源国債券ファンド		2.20%	10.59%	9.19%												
⑱	しんきん好配当利回り株ファンド		1.32%	15.28%	4.31%	⑱	DIAM割安日本株ファンド		1.82%	15.08%	7.02%	⑱	しんきんJリートオープン(1年決算型)		1.46%	14.88%	0.78%												
⑲	ニッセイ日本インカムオープン		1.16%	0.74%	0.05%	⑲	DIAM新興資源国債券ファンド		2.20%	10.48%	5.20%	⑲	グローバルAIファンド		2.59%	27.67%	22.74%												
⑳	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)		1.84%	6.73%	4.07%	㉑	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)		1.42%	5.96%	-1.31%	㉑	たわらノーロード 日経225		0.14%	17.03%	15.75%												
残高加重平均値			1.52%	13.51%	5.07%	残高加重平均値			1.49%	14.21%	4.47%	残高加重平均値				1.53%	14.98%	8.14%											